



## 新年のご挨拶

労働者健康安全機構 中国労災病院  
病院長 榎野 新

新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、去年の出来事を振り返ってみますと、私は3つのキーワードがあったように思います。「予想外」、「テロ」、「大規模自然災害」の3つです。「予想外」とは、大方の予想に反して、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したこと、英国が国民投票でEU離脱の決定をしたことです。これらにより将来の世界情勢を読むことが難しくなりました。また、世界で「テロ」が多発しました。最も記憶に残っているのは、バングラデシュのダッカで7月に起こったレストラン襲撃事件です。日本人7名を含む22名の方々が犠牲になりました。「大規模自然災害」では地震が多く発生しました。もちろん一番心配したのは4月の熊本地震です。50名の方々が犠牲になりましたが、震災関連死を加えると160余名の方々が亡くなったといわれています。世界では2月の台湾南部地震、4月のエクアドル地震、8月のイタリア中部地震でも多数の犠牲者が出ました。

もちろん喜ばしいことも沢山ありました。リオデジャネイロ・オリンピック、パラリンピックで日本は過去最多のメダルを獲得しましたし、大隅良典東京工業大学栄誉教授にノーベル生理学・医学賞が贈られました。日本人によって発見された新しい元素がニホニウムと命名されました。しかし広島県人にとって最も記憶に残っていることはカープのリーグ優勝でしょう。

医療界に目を向けると、地域医療構想が少しずつ具体化されはじめています。急性期病院（一般病床7:1入院基本料）の要件は2年ごとの診療報酬改定で段階的に厳しくなっていくでしょう。平成28年度はその最初の年となりました。特に急性期病院にとっては難しい時代に入っていくさうです。

世界情勢と同様、医療を取り巻く環境についてもここ暫くは方向性が見えにくい時代になると思います。ただ言えることは、この様な時代だからこそ、更に地域の先生方と急性期病院が協力・連携を進めていくこと、地域医療連携に不可欠な救急医療に力を入れていくことが今まで以上に重要となっていくでしょう。この様なときこそ地域で力を合わせて乗り切っていきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様にとって今年が平穏な年でありますよう祈っております。

平成29年1月